

銚子ジオパーク市民の会ニュース

第84号

2018年6月28日

発行責任者：工藤 忠男

編集責任者：藤身 隆雄

TEL 0479-24-2225

<http://choshi-geopark.com/>



ジオっちょ



屏風ヶ浦遠望

平成30年度 銚子ジオパーク推進協議会総会報告

5月22日(火)に標記
 総会が銚子市青少年文化
 会館第一会議室で開催さ
 れました。34構成団体の
 半数以上が出席し、多数
 の来賓と傍聴人も同席す
 る盛況な総会でした。

推進協議会会長越川信
 一市長、顧問田光保千
 葉県議会議員の挨拶の後、
 平成29年度の事業報告、
 収支決算報告・監査報告、
 平成30年度事業計画案、
 収支予算案、及び、新名
 称「社会教育課文化財・
 ジオパーク室」に伴う規
 約改定案が審議され、事
 務局提案通りに承認可決
 されました。

平成30年度の活動計
 画の中で特徴的なのは、
 ジオパーク活動における
 目標・コンセプト等の共
 有として、①知る育てる
 (教育普及)、②まもる
 (保護・保全)、③いかす

等を重要課題として活動
 することです。市民の会
 の活動もそれに
 対応することを意識する
 必要があると思われま
 す。総会終了後、西念和
 徳氏、田中豊代、出口節
 氏、藤身隆雄氏の銚子
 ジオパークガイド認証式
 が行われました。

を最重要課題として活動
 することです。市民の会
 の活動もそれに
 対応することを意識する
 必要があると思われま
 す。総会終了後、西念和
 徳氏、田中豊代、出口節
 氏、藤身隆雄氏の銚子
 ジオパークガイド認証式
 が行われました。

短期目標の中には
 2016年度の再認定審査
 で指摘された10項目の
 課題が列挙されており、
 課題の解決が必須と認識
 されています。例として
 ジオストーリーの構築
 それを伝える書籍の作成
 防災教育の展開、ジオサ
 イトの整理、シンポジウ
 ムの開催、保護保全のあ
 り方を市民参加で協議す
 る場の創設、可視化の推
 進、観光協会ホームページ
 での紹介、看板や広告
 物の整備、民間からの支
 援を受ける体制づくり、
 等があります。

平成30年度は、これら
 ドーナツ型又は馬蹄形
 の2m位の高さにまで盛
 土のように積み上げてい
 たのは「何かの意図があ
 ったのでは」とガイドが
 説明。現代風に言えば村
 を守る塀にリサイクル?
 貝層の中には人骨に加
 え、犬も埋葬されていた
 のにはビックリ。狩りの
 助け手だったのだろうか
 すでに人間の友だった?
 更に余山ではあまりで
 ていない「イボキサゴ」
 (今でも東京湾で採れる)
 という小さな巻貝が大量
 にあり、食べるというよ
 り塩分とダシ取りにスー
 プとして利用していたら
 しい。復元集落の竪穴式
 住居のかまど跡を見なが
 ら「イボキサゴスープに
 山菜、イノシシ肉の入っ
 た縄文鍋料理は美味しい
 だろうな」と、にんまり
 してしまふ。

縄文の森へ

藤本京子

加曾利貝塚は初めての
 私は、私達の町の栗島台
 余山貝塚の延長線だろう
 と予想していたが、クヌ
 ギ、コナラ、クリ、シイ
 など縄文時代の植生を再
 現した森と草原に足を踏
 み入れると、縄文の世界
 に心が引き込まれて行く。
 見事に保存、展示され
 た貝塚。「縄文人のゴミ捨
 て場」以上の意味がある
 ようだ。

加曾利貝塚は日本人の魂
 のふる里のようだ。こ
 のように丸ごと里山
 として当時の暮らしを保
 全、展開させた原動力は
 市民活動だそう、余山
 も市民活動を原点に再生
 が始まっているが更なる
 展開を期待したい。ユニ
 ークな特産物、当時の自
 然環境も残っているの
 小粒ながらびかっと光る
 遺跡になると信じている。
 歌がある。江戸時代には
 芭蕉の・・・
 ◆熊 ストップ、そこか
 ら先は知ってるぜ。「五
 月雨(さみだれ)をあつめ
 て早し最上川」だろう。
 ◇隠居 パチパチパチパ
 チ。
 江戸時代の日本歳時記
 (1887 貞享4年)に
 「これを梅雨(つゆ)と名
 づく」とある。
 こうしてみると、千年位
 前には「五月雨(さみだ
 れ)」が使われており、



梅雨を考える

宮内秀

◆熊 うつとうしい梅雨
 の季節だね、「つゆ」